



松ヶ崎だより

第2回
学校評価特集号

京都市左京区松ヶ崎堀町 40
TEL.075(781)3380 / FAX.075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>



令和 6 年 3 月 2 1 日
京都市立松ヶ崎小学校
校長 岡崎 秀樹



本年度を振り返って

第2回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本号では、アンケートの結果と、結果をもとにした振り返りについてダイジェストでお伝えします。

＜アンケート調査の概要＞ ※アンケートフォームによるオンラインでの実施

対象	調査期間	対象数	集計数
保護者	11月24日(木)～12月5日(月)	349名	212名(60.7%)
子ども	11月28日(月)～12月6日(火)	349名	312名(89.4%)

＜アンケート結果をもとにした振り返りの流れについて＞

第2回のアンケート結果をもとに、2学期の取組について教職員による振り返りを行いました。振り返りでは、①「確かな学力」の育成、②「豊かな心」の育成、③「健やかな体」の育成の3つについて、アンケートの結果から見てきた成果と課題を出し合い、今後に向けての提案を考えるという手順で行いました。

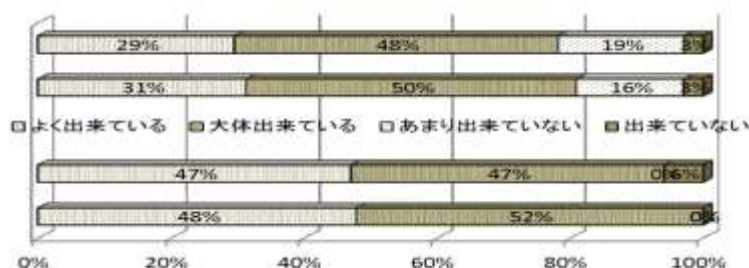
＜ダイジェスト版の見方＞

2学期に重点的に取り組んだ内容について、アンケート結果と振り返りを示しています。紙幅の都合で掲載できなかったアンケートの結果についても、ホームページ上に公表する予定です。

(R5後…令和5年度後期、R5前…令和5年度前期、保…保護者、子…子ども、教…教職員 を表しています)

ルールの定着・学び合いの基盤となる学習規律

子	チャイムで学習が始められるように準備をして待っている。	R5後 R5前
教	授業の始めと終わりなど、時間を守っている。	R5後 R5前



＜よかったこと・続けていきたいこと (○) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□)＞

○各教科に必要な基礎学力がしっかりと定着している傾向にある。

○授業の初めと終わりの時間を守る意識を教職員も子どもも持っている。

●学校のきまりを児童も教職員も共通理解できていないものがあった。

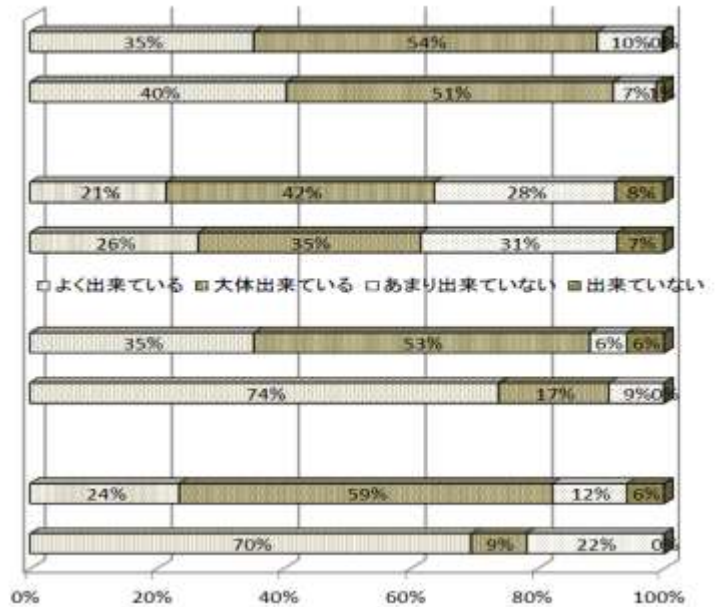
●学習に困難を抱える児童は一定数いる。

□学力の差を考慮した、個別最適な学びが実現するように、画一的でない指導を心がける。

□時間を守る意識を今後も続けていく。

学び合い、高め合う授業

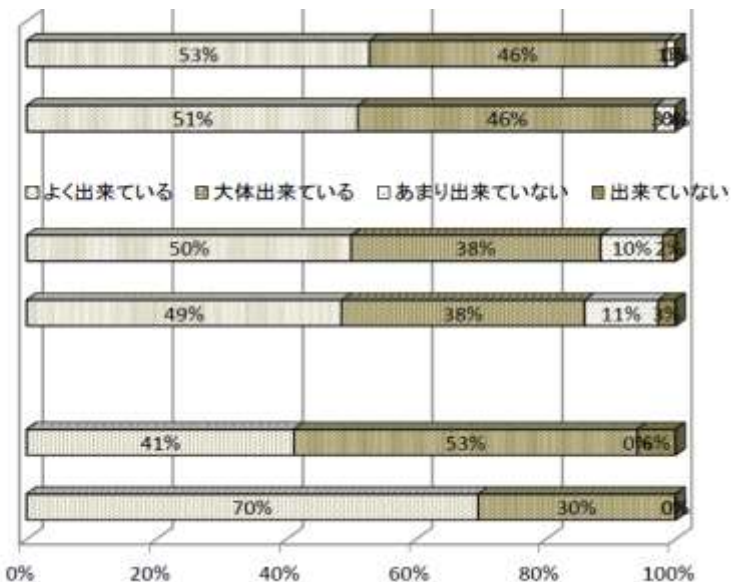
子	話を聞く時は、相手を見て、最後まで静かに聞いている。	R5後
		R5前
子	発表するときは、友達の発表につけ足したり、つなげたりしている。	R5後
		R5前
教	「相手を見て、最後まででき」ことの指導を徹底している。	R5後
		R5前
教	日常の授業で、子どもたちの考えを深め、その時間の目標に向かう話し合いを行っている。	R5後
		R5前



- <よかったこと・続けていきたいこと (〇) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >
- 学習に対して前向きな児童が多い。
 - ICT活用がさらに進み、共感的な学びの道具として活用ができています。
 - 授業を楽しんでいると感じていない子どももいる。
 - 発表や対話が苦手な児童は一定数いる。
 - 課題解決の学習ばかりでなく、問題解決学習を行い、児童の学ぶ意欲を高めていく。
 - 学年に応じた使用場面を精査し、積極的に活用を進めていく。

子どもの行動への価値づけ

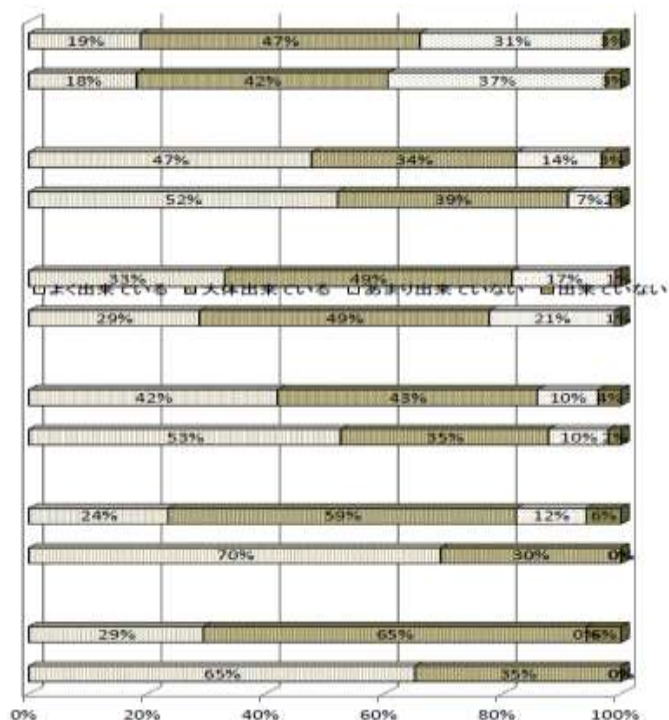
保	学校の教員は、子どもの良い所やがんばっている所を認め、ほめている。	R5後
		R5前
子	先生は、私のよいところやがんばっているところを、ほめてくれる。	R5後
		R5前
教	子どもの良い所やがんばりをほめ、価値を伝えている。	R5後
		R5前



- <よかったこと・続けていきたいこと (〇) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >
- 自分の行動を素直に反省し、次の行動に生かそうとする子どもが多い。
 - 上級生が下級生のことを思いやる「たてわり活動」で異学年集団での思いやりが見られた。
 - 「みんなと心地よく生活する」という公共の場での行動を振り返られるように、声掛けをしたり、アンケートの項目に取り入れたりする。

はきもの・あいさつ

保	子どもは、はきものをそろえている。	R5後 R5前
子	はきもの(くつ、トイレのスリッパ)をそろえている。	R5後 R5前
保	子どもは、自分からすすんであいさつができる。	R5後 R5前
子	誰に対しても、自分から進んであいさつしている。	R5後 R5前
教	自分から挨拶をするように指導している。	R5後 R5前
教	はきものをそろえるように指導している。	R5後 R5前



<よかったこと・続けていきたいこと (〇) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >
 ○進んであいさつする子どもが増えた。あいさつをすれば返すことが普通になっている。

○学校全体が落ち着いており、靴箱の靴はきれいにそろっている。

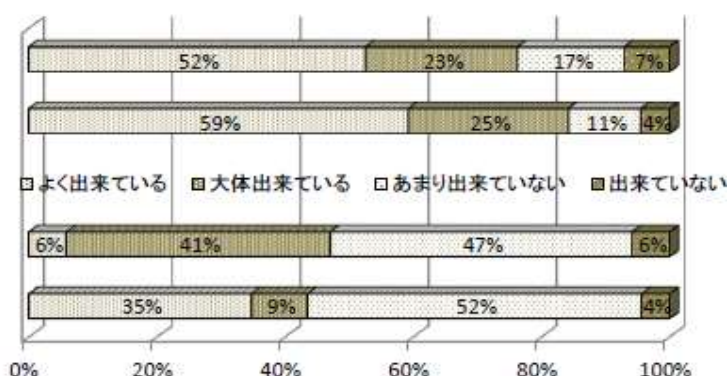
●指導が徹底できていないクラスもある。

●トイレのスリッパがそろっていない。公共の精神を育てていく必要がある。

□継続してきたことの成果が表れているので、満足するのではなく、当然のこととして今後も続けていく。

健やかな身体

子	外遊びなどで、進んで体を動かしている。	R5後 R5前
教	いろいろな運動遊びを子どもに教えている。	R5後 R5前



<よかったこと・続けていきたいこと (〇) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >
 ○休み時間に外で遊ぶことを楽しみにしている子どもが多い。

○ケガをして保健室に行く児童が減っている。

●コロナ禍以後のインフルエンザの蔓延があり、学級閉鎖が何度かあった。

□子どもが外で遊ぶように教師から働きかける。

□フッ化物洗口が再開したので、歯の健康についての意識を高められるようにする。

□家庭との連携を図り、早寝・早起き・外遊びを定着できるようにする。

楽しい学校・安心できる学校

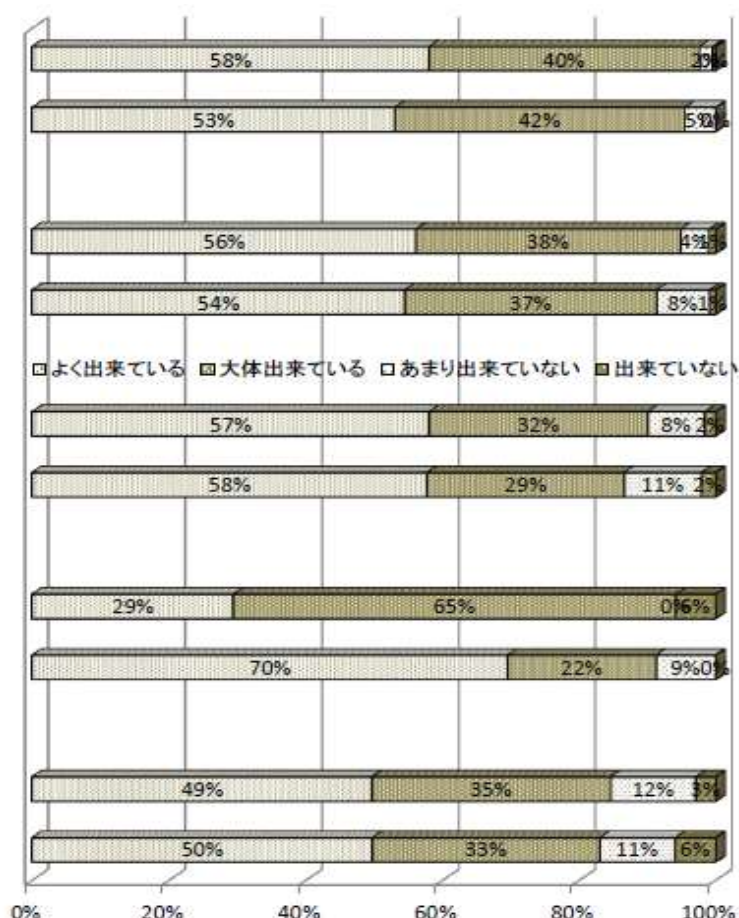
保	子どもは、学校が楽しいと感じている。	R5 後
		R5 前

子	学校へ行くのが楽しい。	R5 後
		R5 前

子	学校は安心できる場所である。	R5 後
		R5 前

教	「自己存在感を与える」手立てを日常の授業の中で行っている。	R5 後
		R5 前

子	自分には良いところがある、と思いますか。	R5 後
		R5 前



<よかったこと・続けていきたいこと (〇) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >

○学校全体が落ち着いている。良い雰囲気の中、日々の教育活動を進めることができています。

○クラスの仲間と協力し合って生活することができています。

●学校に不安を感じている児童がいる。

●自己存在感、自己有用感が低い子どもがいる。

□良い行動をお互いに褒め合う機会を、意図的に生活の中の時間に取り入れる。

□一人一人の子どもが活躍し、自己存在感・自己有用感を高めることができるように、日々の授業で子どもの活躍の場面を作り出す。

さいごに

ご多用の中、本年度の学校評価アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。学級懇談会や個人懇談の場などでもお家の方の意見をいただくことができ、今後の参考になりました。いただいたご意見を生かして今後の教育活動を進めてまいります。